

科目名 (科目番号)	成人看護学 援助論 I (慢性期) (074141)	教員名	日向野香織 岡嶋妙子 吉田和美 宮本まり子 須田香奈子	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等		時間割参照	単位数	2
				オフィスアワー		別紙参照	各教員研究室	
授業概要	慢性疾患を有する人々の特徴や対象者の生活の調整や再構築、セルフケアを支援する看護援助方法について理解する。慢性疾患のある人に対する看護について、主要な機能障害をとりあげ、生活の再調整・再構築が必要な成人期患者の基本的な看護活動、がん看護、終末期にある患者への看護について学ぶ。 関係する垂直軸:看護・人間の理解・健康の状態・コミュニケーション・多職種連携							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の方法	到達目標:セルフマネジメントに関する理論・概念・活用方法について理解する。 学習内容:慢性疾患にある人と家族の特徴、セルフマネジメントを行う患者への看護について学習する。					
	2	身体防機能障害のある患者の看護①	到達目標:全身性エリテマトーデス患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。 学習内容:全身性エリテマトーデス患者、ステロイド治療を受ける患者の援助について学習する。					
	3	消化・吸収機能障害のある患者の看護	到達目標:①消化・吸収機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 ②潰瘍性大腸炎、クローン病、慢性肝炎、肝硬変、慢性膵炎患者の特徴、看護を理解する。 学習内容:①消化・吸収機能障害をもつ患者のアセスメント、検査・処置・治療時の看護について学習する。					
	4	栄養代謝機能障害のある患者の看護	②潰瘍性大腸炎・クローン病・慢性肝炎・肝硬変・膵炎患者、インターフェロン治療、経腸・経静脈栄養法導入患者への援助について学習する。					
	5	呼吸機能障害のある患者の看護	到達目標:①呼吸機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 ②慢性呼吸不全患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。					
	6		学習内容:①呼吸機能障害をもつ患者のアセスメント、検査・処置・治療時の看護について学習する。 ②慢性呼吸不全患者、在宅酸素療法導入している患者への看護について学習する。					
	7	循環機能障害のある患者の看護	到達目標:①循環機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 ②不整脈・慢性心不全患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。					
	8		学習内容:①循環機能障害をもつ患者のアセスメント、検査・処置・治療時の看護について学習する。 ②不整脈・慢性心不全患者、ペースメーカを装着している患者への援助について学習する。					
	9	脳・神経機能障害のある患者の看護	到達目標:筋委縮性側索硬化症・重症筋無力症患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 学習内容:筋委縮性側索硬化症・重症筋無力症患者への援助について学習する。					
	10	内分泌調整機能障害のある患者の看護 内部環境調整機能障害のある患者の看護	到達目標 ①甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 ②内部環境調整機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護について理解する。 ③急性腎不全・慢性腎不全患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。 ④糖尿病患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。					
	11		学習内容 ①甲状腺機能障害患者、甲状腺ホルモン療法を受ける患者の援助について学習する。 ②内部環境調整機能障害患者のアセスメント、検査・処置・治療時の看護について学習する。 ③急性腎不全・慢性腎不全患者、人工透析・腎移植を受ける患者の援助について学習する。 ④糖尿病患者、インスリン療法を受ける患者の援助について学習する。					
	12							
	13							
	14	患者教育と指導	到達目標:学習者と家族への指導を行うプロセスについて理解する。 学習内容:セルフマネジメントを促すための教育的支援について学習する。					
	15	看護技術演習①	到達目標:血糖自己測定を実施することを通して、患者の特徴や看護援助の特徴について理解する。 学習内容:血糖自己測定を行う患者への看護について学習する。					
	16	看護技術演習②	到達目標:事例患者(成人期)に対する支援方法について既習の概念や理論を用いてアセスメントする。 学習内容:紙上患者の生活の再構築について、既習の概念や理論を用いてアセスメントする。					
	17	看護技術演習③	到達目標:成人期にある事例患者に対する支援方法について既習の概念や理論を用いて指導案を作成できる。					
	18		学習内容:紙上患者の生活の再構築について、既習の概念や理論を用いてグループ毎に指導案を作成する。					
	19	看護技術演習④	到達目標:成人期にある事例患者に対する個別性に応じた指導のロールプレイング原稿が作成できる。					
	20		学習内容:紙上患者に対する指導のロールプレイング原稿をグループで作成する。					
	21	看護技術演習⑤	到達目標:成人期にある事例患者に対する指導案に基づいた指導の準備ができる。					
22	学習内容:紙上患者に対する指導案に基づき、指導教材などをグループ毎に作成する。							

授業計画	23	看護技術演習⑥	到達目標:成人期にある事例患者に対する生活の再構築に関する指導を発表・聴講し学びを共有できる。
	24		学習内容:紙上患者に対する生活の再構築に関する指導をグループ毎に発表する。
	25	がん治療を必要とする人の看護	到達目標:がん患者と家族の特徴と看護について理解する。
	26		学習内容:全人的苦痛(想起)、除痛ラダー、社会資源の活用について学習する。
	27	放射線療法、化学療法を受ける患者への看護	到達目標:放射線療法、化学療法の目的・治療方法・副作用と看護援助の特徴を理解する。
	28	身体防御機能障害のある患者の看護②	到達目標:白血病患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴について理解する。
	29	人生の最期の時を迎える人への看護	到達目標:終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者とその特徴、看護について理解する。
	30		学習内容:エンド・オブ・ライフ・ケア、臨死期の看護について学習する。 (外部講師:緩和ケア認定看護師 佐藤絹代先生)
成績評価の方法・基準	定期試験:筆記試験70%、演習・レポート課題20%、小テスト10%で評価します。定期試験を合わせて60点以上を合格とし、60点未満の場合は1回のみ再試験を行います。		
教科書	1)成人看護学 慢性期看護論 改訂第3版 2)「糖尿病食事療法のための食品交換表」第7版 3)成人看護学 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ 4)成人看護学 緩和・ターミナル看護論 5)成人看護技術 慢性看護 6)成人看護技術 がん・ターミナルケア 7)NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020 8)看護過程に沿った対症看護 第5版 ※2)は1年次購入済み(栄養学) ※3)は病態・治療論IIで購入(2年次) ※7)は成人看護学概論で購入(2年次)	1)鈴木久美 編 2)日本糖尿病協会 編 3)工藤翔二ほか 編 4)鈴木志津子 編 5)宮脇郁子 編 6)神田清子 編 7)T.ヘザー、ハードマン著 上鶴重美訳 8)高木永子	1)南江堂 2)日本糖尿病協会・文光堂 3)メヂカルフレンド社 4)ヌーヴェル・ヒロカワ 5)メヂカルフレンド社 6)メヂカルフレンド社 7)医学書院 8)学研
参考図書	随時紹介します。		
教員からのメッセージ	授業内に小テストを行います。既習の人体の構造・機能、病態・治療論の知識を習得していないと理解が困難な内容です。講義進度も早いため、予習・復習など、積極的な自己学習が重要です。演習・レポート課題は、担当教員が確認し返却します。また、演習ではグループワークを中心とし自らが考え発言できる機会を持ちますので積極的に参加してください。		